



すこやか編集会議メンバーおすすめコース ウォーキング de 健康に!

〈北和エリア編〉 佐保川さくら散歩

万葉集に「うちのほる佐保の川原の青柳は 今は春べとなりにけるかも」とうたわれる佐保川の桜は、江戸末期に奈良奉行の川路聖謨(かわじとしあきら)が植樹したことが始まりとされています。桜は「川路桜」と呼ばれ、中には植樹 170 年のソメイヨシノの古樹もあります。御衣黄(ぎよいこう)桜や桜のトンネルも楽しめます。



水面に映る桜と青い空のコントラストが美しい。



川べりには広いオープンスペースがあり、川面におりることができます。



ところどころにベンチがあり休憩しながら歩ける。



近鉄新大宮駅より北に歩いて佐保川まで約 5 分
佐保川沿いを東にゆっくり歩いて大仏鐵道記念公園まで約 20 分。南下し JR 奈良駅までは約 25 分
佐保川沿いは生活道路のため車に注意してください



下長慶橋
大仏鐵道記念公園手前にある橋。長慶寺を建立した吉村長慶が寄贈した。当時の橋は流されて、今の橋は昭和 31 年に改修されたもの。



畠山製菓
ホテルリガーレ春日野の向かい側。甘い匂いに誘われるように店内へ。店主さんが焼いているところが店内からも外からも見られます。たまごを使った甘いおせんべいです。かわいい焼印の大仏鐵道せんべい、ベビーカステラなど。店主さんオススメは、ピンズたまご。一枚一枚 手焼きされています。

医療とくらしの相談窓口

奈良県医療福祉生協では、健康やくらしの不安、お悩み、お困りごとのご相談をお受けしています。経済的な理由で医療にかかれないとお困りの方には、無料低額診療制度が利用できる場合があります。

お一人で悩まないでお気軽に電話ください。
プライバシーは厳守いたします。
☎ 0744-23-1170
(月・火・金 10:00~15:00)
担当: 榎並(えなみ)



現行の健康保険証を残してください 請願署名 ご協力ありがとうございました

前回の署名は 475 筆、今回の署名は 11 月末現在で 257 筆が集まり、奈良県保険医協会に送りました。

誰もが安心して医療を受けられるようにこれからも積極的に運動をすすめてまいります。引き続き、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



「国連原爆展 in NARA」に行きました

10月 20 日・21 日、奈良県橿原文化会館展示室で開催された「国連原爆展 in NARA」パネル展を見に行きました。展示パネルは 2022 年 8 月の NPT 再検討会議にあわせてニューヨークの国連本部で展示されたもので 48 枚あり 5 つのテーマで展示されていました。

最初に私の目に入ったのは「もしニューヨークに原爆が投下されたら」というパネルでした。実際には投下されていませんが、仮に投下されたとき「爆心地から半 2.5km (1.5 マイル) の地域内の建物は堅固につくられ

たものも含め完全に破壊され、そこに住む市民は 100% 近くが死亡すると考えられます。」と書かれていました。広島・長崎の原爆投下前と後のパネルを見た後だったので想像すると心が痛みました。

また【国連と被爆者の歩み】ゾーンに、第五福竜丸がゴミの中に浮かんでいるものがありました。そのパネルは、第五福竜丸が回収された当時の様子を写したものでした。第五福竜丸は、1954 年 3 月 1 日にビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験で被爆した船です。原水爆による悲惨な出来事を伝え、二度とこのようなことが起らないように風化させてはいけないと感じました。(今は東京夢島第五福竜丸展示館で展示されています)

21 日午後から日本被団協事務局長 木戸季市さんが「今、いちばんつたえたいこと」と題して講演されました。講演を聞いた教師からの「平和についてどのように子ども達に教えていいのか?」という質問に木戸さんは「命を守ること、自分の生き方は自分で決められる。教育は対話だと思う。教師も生徒も対等に論じ合うことが大切だ」と話されました。



パネル展を通して、核兵器のない世界を実現するために、私たち一人ひとりが考え続けていくことが必要だと改めて考えさせられました。

寒い季節はヒートショックにご用心!

寒さの厳しいこの時季、気をつけたいのがヒートショックです。ヒートショックは、気温の低い屋外から屋内への移動や暖かい部屋から寒い部屋への移動などによる急激な環境温度の変化によって、血圧が大きく変動することによって起こります。

厚生労働省の人口動態統計(令和 3 年)によると、高齢者の浴槽内での不慮の溺死・溺水で亡くなる人の数は、交通事故死者の約 2 倍となっています。

暖房をしていない脱衣場や浴室では体温がうばわれて血圧が上昇、温かい湯船に入ることで急激に血圧が下がり、失神や心筋梗塞、脳梗塞を起こして、その結果湯船でおぼれて命を落とすこともあります。死亡者の約 9 割が 65 歳以上の高齢者が占めています。

高齢者はヒートショックの影響を受けやすいといわれていますが、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満、睡眠時無呼吸症候群、不整脈がある人も影響を受けやすいので注意が必要です。

ヒートショックを防ぐには…

入浴中の事故を防ぐために気をつけておきたいこと

- ① 入浴前に脱衣室や浴室を暖める
- ② 湯船に入る前にシャワーやかけ湯で体を温める
- ③ 湯温は 41 度以下、湯船につかる時間は 10 分までが目安
- ④ 入浴前後にコップ 1 杯の水分補給をする
- ⑤ 浴槽から急に立ち上がらない
- ⑥ 食後すぐの入浴、飲酒後、医薬品服用後の入浴は避ける
- ⑦ 血圧が高いときは、入浴を控える
- ⑧ 入浴する前には同居者に一声かけてから入る

温かいお風呂は、一日の疲れを癒してくれるホットする時間です。ヒートショックを起こさないよう対策をしっかり取ってリラックスタイムを過ごしましょう。

